

平成31年4月21日公開 ITパスポート試験 分析資料

株式会社ウイネット

弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、公開された試験の出題内容に関するご意見を聴取させていただき、整理及び分析を行いました。今後のご参考として、4月21日（日）に公開された試験（以下、H31春と表記）の分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

	分野	H31春	H30秋	H30春	H29秋	H29春	H28秋
1	ストラテジ系	35	35	35	35	34	34
2	マネジメント系	21	21	20	20	20	20
3	テクノロジ系	44	44	45	45	46	46
	合計	100	100	100	100	100	100

- (1) 分野別出題数は、前回と同じでした。
- (2) 試験要綱より、今後とも出題数は、ストラテジ系 35 問程度、マネジメント系 20 問程度、テクノロジ系 45 問程度になると考えます。

2. 大分類別出題数

	大分類	H31春	H30秋	H30春	H29秋	H29春	H28秋
1	企業と法務	15	16	18	16	17	17
2	経営戦略	11	14	9	12	9	10
3	システム戦略	9	5	8	7	8	7
4	開発技術	6	3	3	4	4	4
5	プロジェクトマネジメント	5	9	8	8	8	8
6	サービスマネジメント	10	9	9	8	8	8
7	基礎理論	2	2	2	1	2	2
8	コンピュータシステム	9	9	10	12	9	12
9	技術要素	33	33	33	32	35	32
	合計	100	100	100	100	100	100

- (1) 前回と比較して、出題数が増えた大分類は、“システム戦略（+4 問）”、“開発技術（+3 問）”、“サービスマネジメント（+1 問）”でした。
- (2) 前回と比較して、出題数が減った大分類は、“プロジェクトマネジメント（-4 問）”、“経営戦略（-3 問）”、“企業と法務（-1 問）”でした。

3. 中分類別出題数

	中分類	H31 春	H30 秋	H30 春	H29 秋	H29 春	H28 秋
1	企業活動	7	9	7	8	8	9
2	法務	8	8	11	8	9	8
3	経営戦略マネジメント	7	5	4	6	4	7
4	技術戦略マネジメント	1	3	1	1	1	1
5	ビジネスインダストリ	3	5	4	5	4	2
6	システム戦略	6	2	5	4	4	5
7	システム企画	3	3	3	3	4	2
8	システム開発技術	4	2	2	3	3	2
9	ソフトウェア開発管理技術	2	1	1	1	1	2
10	プロジェクトマネジメント	5	9	8	8	8	8
11	サービスマネジメント	5	5	4	4	4	4
12	システム監査	5	4	5	4	4	4
13	基礎理論	2	1	1	1	1	1
14	アルゴリズムとプログラミング	0	1	1	0	1	1
15	コンピュータ構成要素	2	2	4	3	3	5
16	システム構成要素	3	3	3	2	1	2
17	ソフトウェア	3	3	3	5	3	4
18	ハードウェア	1	1	0	2	2	1
19	ヒューマンインタフェース	0	0	1	0	0	0
20	マルチメディア	1	1	1	0	0	2
21	データベース	4	5	4	4	5	4
22	ネットワーク	11	7	8	7	9	8
23	セキュリティ	17	20	19	21	21	18
	合計	100	100	100	100	100	100

- (1) 前回と比較して、2 問以上出題数が増えた中分類は、“システム戦略 (+4 問)”、“ネットワーク (+4 問)”、“経営戦略マネジメント (+2 問)”、“システム開発技術 (+2 問)”でした。
- (2) 前回と比較して、2 問以上出題数が減った中分類は、“プロジェクトマネジメント (-4 問)”、“セキュリティ (-3 問)”、“企業活動 (-2 問)”、“技術戦略マネジメント (-2 問)”、“ビジネスインダストリ (-2 問)”でした。

4. 初めて出題された用語

CMS (問 8)、RPA (問 19)、HRM (問 22)、オンプレミス (問 30)、ギャップ分析 (問 31)、ゲーミフィケーション (問 33)、チャットボット (問 46)、不正のトライアングル (問 65)、5G (問 73)、3D プリンタ (問 80)、LPWA (問 86)、NFC (問 93) などがあります。

5. 今後の対策

新用語は毎回出題されますが、総合で 60%、各分野で 30%以上得点すれば合格ですので、まずはシラバスの用語を徹底的にマスタし、過去問題及び公開問題で実践力を身に付け、類似問題は 100%正解できるようにする対策が重要になります。また、セキュリティやネットワークなどの分野の新しい用語に興味をもち、インターネットを活用して学習すれば、より合格の可能性が高くなります。